



# 人権週間 2021

令和3年12月4日(土)～10日(金)

☎ 福祉介護課 ☎84-0316

誰かが誇りを持てる社会に

平成28年7月26日、障害者支援施設である県立「津久井やまゆり園」において19人が死亡し、27人が負傷するという、大変痛ましい事件が発生しました。

この事件は、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと伝えられ、社会に衝撃を与えました。

このような事件が二度と繰り返されぬよう、県では、誰かが誇りを持って生活できる社会の実現をめざし、「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めています。

町では、人権週間(12月4日～10日)と障がい者週間(12月3日～9日)に合わせ、「ともに生きる社会かながわ憲章」のパネル展示をします。

障がい者への理解を深めると同時に、障がいのある人の社会活動への参加について、この機会に考えてみましょう。

## ■ パネル展示

ともに生きる社会  
かながわ憲章

開成町福祉会館 1階  
12月7日(火)まで

## ■ 講演会

多様な性ってなんだろう？

(講師：認定NPO法人 ReBit)

12月5日(日) 13:00～  
福祉会館 多目的ホール

☎企画政策課 ☎84-0315



100人いれば、  
100通りの性があるんだね！



- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します

## 性の多様性を認めよう

LGBTの人たちは左利きの人とほぼ同じ割合(8.9%)いるという調査結果(※)があり、中には生活のさまざまな場面で困難に直面したり、ありのままの自分を表現したりすることが難しい人たちがいます。

誰かが自分らしく生きられ、お互いを認め合える社会になるよう、まずはあなたがLGBTについて正しく理解することから始めてみませんか？

- |   |  |
|---|--|
| <b>L</b> レズビアン<br>心の性が女性で、恋愛対象も女性           | <b>B</b> バイセクシュアル<br>男性も女性も恋愛対象        |
| <b>G</b> ゲイ<br>心の性が男性で、恋愛対象も男性              | <b>T</b> トランスジェンダー<br>心の性と身体の性が一致していない |
| 他にも、<br><b>Q</b> クエスチョニング<br>性別や性的指向が決められない | <b>I</b> インターセックス<br>身体の性的な発達が一一般と異なる  |
| <b>A</b> アセクシュアル<br>両性に対して恋愛感情を抱かない         | …など、性に関する世界の認識は日々変わっています。              |



## 「フードバンク」ってどんな活動？



食品ロスの削減や生活困窮者支援を目的とした「フードバンク」。町でこの活動を行っているひとり親の会「つくしの会」を石崎まちづくり情報特派員が取材しました。

☎ 企画政策課 ☎84-0312

## つくしの会代表 三浦 圭子 さん(下延沢)に聞きました



コロナ禍の影響で生活に困っているひとり親世帯を支えたいという気持ちで、フードバンクの活動を始めました。

小田原の報徳食品支援センターや一般の方からご提供いただいた食料を、2か月に1回、会員の皆さんに配付しています。

会の役員をはじめ、社会福祉協議会やボランティアの皆さんが協力してくださり、回を重ねるごとに応援者が増え、大変感謝しています。

## What's 「つくしの会」？

町のひとり親の会で、足柄上地域では、唯一のひとり親団体です。結成して30年以上、父子家庭も含め、現在33世帯が加入しています。コロナ禍で活動休止中ですが、社会見学(バス旅行)、親子料理、手芸教室、アウトドア活動などを行っています。

☎ つくしの会事務局  
町社会福祉協議会 ☎82-5222

## フードバンクの配付日(10月30日)に密着取材 in 福祉会館

PM4:00～



配付前の仕分け作業。会の役員さん、ボランティアの皆さんが世帯別に食料を分けていきます。世帯の構成や子どもの年齢、性別なども考慮して仕分けしています。



今回配付された食料。レトルト食品や粉末スープのほか、お米や冷凍食品も。賞味期限が迫っているなど、店頭には並べられないものも活用されます。

PM5:00～



会員さんたちが次々と受け取りに来ます。ただ食料を手渡すだけではなく、近況を尋ねるなど、会員とのコミュニケーションを大切にしています。



**会員さんの声**

- ・お米から調味料、お菓子まであるので助かります。
- ・コーヒーやスープなど温かい飲み物が入っていると気持ちもホッと温まります。

まちづくり  
情報特派員  
石崎 雅美



「もったいない」という気持ちから、「ありがとう」を生む活動と言われまます。支援を受ける立場の方も、本来なら廃棄されてしまう食料を受け取って活用することで、食品ロス削減に貢献する立場になれる。関わる方全員が笑顔になれる活動なのだと思います。

この活動が一人でも多く支援を必要とする方に届きますように！

## 編集後記

ありがたいだけでなく、食料を受け取ることが社会貢献に！

フードバンク活動は「もったいない」という